

平成14年3月19日

各 位

会社名 大林道路株式会社
コード番号 1896
問合せ先 取締役 本店総務部長
太田 孝夫
TEL(03)3796-6500

通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成13年11月27日の中間決算発表時に公表した平成14年3月期の業績予想を下記のとおり修正します。

1. 14年3月期通期業績予想数値の修正(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成13年11月27日発表)	93,400	70	△ 250
今回修正予想(B)	98,700	△ 400	△ 1,830
増減額(B-A)	5,300	△ 470	△ 1,580
増減率	5.7	—	—
前期(平成13年3月期実績)	116,296	644	△ 2,189

2. 14年3月期連結通期業績予想数値の修正(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成13年11月27日発表)	95,000	90	△ 240
今回修正予想(B)	99,900	△ 370	△ 1,840
増減額(B-A)	4,900	△ 460	△ 1,600
増減率	5.2	—	—
前期(平成13年3月期実績)	117,521	744	△ 2,157

3. 期末の1株当たり配当予想の修正(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位:円)

	中間期	期 末	年 間
前回発表予想(A)	—	4.00	4.00
今回修正予想(B)	—	0.00	0.00
(ご参考)前期の1株当り 配当金実績	—	6.00	6.00

4. 修正の理由

通期業績の見込みにつきましては、前回の予想と比べまして売上高はわずかながら伸びたものの受注競争の激化により利益率が低下し、経常損失の見込みとなりました。

また、当社の保有株式のうち、時価が著しく下落した銘柄につきましては、当期末に減損処理を実施することにより投資有価証券評価損(約1億7千万円)を特別損失に計上、また貸倒懸念債権につきましては、今期一括処理し全額引当(約15億9千万円)を行い特別損失に計上することにより、当期純損失は平成13年11月発表値より大幅に増加することとなります。

連結の修正については当社の業績修正に伴うものであります。

次に、当期の配当予想につきましては、1株当たり4円としておりましたが、経常損失が前期繰越利益を上回り、さらに当期純損失も大幅な悪化が見込まれますので、誠に遺憾ながら配当を見送らせていただく予定であります。

5. 今後の対応

今後とも厳しい経営環境が続くものと予想され、これに対処するため次の諸施策を行い、利益創出型の経営体制を早急に確立し、業績の向上を図る所存であります。

- (1) 組織を簡素化するとともに、支店、営業所、プラント等の統廃合を行う。
- (2) 外部からの派遣職員を削減する。
- (3) 役員の年収を概ね20%減額する。
- (4) 従業員の給与を5%減額する。

6. 組織の変更及び人事異動

- (1) 平成14年4月1日をもって、東京支店(東京都港区)と北関東支店(さいたま市)を統合し、名称を関東支店(東京都港区)に変更する。

- (2) 人事異動(平成14年4月1日付)

常務取締役関東支店長
常務取締役(工務・合材担当)
取締役中部支店長

宮下 千里 (現 常務取締役東京支店長)
木谷 尚弘 (現 常務取締役中部支店長)
水谷 裕 (現 取締役北関東支店長)

以 上